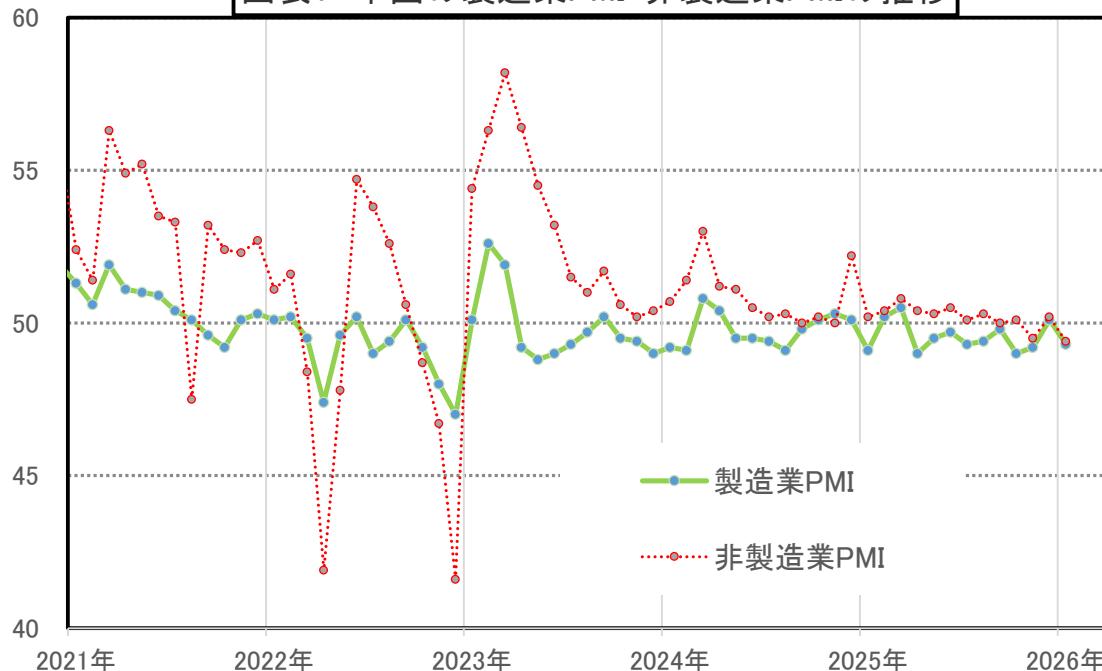


(中国)1月の製造業・非製造業 PMI はいずれも 50 割れ

中国国家統計局が 2026 年 1 月 31 日に発表した 1 月の製造業 PMI(購買担当者景気指数)は 49.3 となった(図表 1)。25 年 12 月から 0.8 ポイント低下し、再び景況感の分岐点である 50 を下回った。

図表1 中国の製造業PMI・非製造業PMIの推移



(資料)中国国家統計局、windより作成、直近は26年1月。

50 割れとなった背景としては、①春節休暇(2 月 15~23 日)を控えて従業員の帰省が進み、企業の生産活動が鈍化したこと、②新規受注指数と新規輸出受注指数が大幅に低下するなど、需要回復の勢いが弱く、生産拡大に慎重な姿勢が続いていること、などが挙げられる。

また、非製造業 PMI も 49.4 となり、再び 50 を下回った(図表 1)。業種別に見ると、サービス業は 49.5 と 3 か月連続で 50 を下回り、建設業は 48.8 と前月から 4.0 ポイント低下した。前述の春節休暇の影響に加え、寒波による作業環境の悪化で工事が一時停止したことも要因とみられる。

このように、足元では企業の景況感が悪化している。中国人民銀行(中央銀行)は 1 月 19 日に金融緩和措置を実施し、財政部(日本の財務省に相当)も 1 月 20 日に 6 つの財政措置を発表するなど、一連の景気刺激策を講じているが、今後はこうした政策の更なる強化が見込まれる。